



安積山

郡山市立日和田小学校

学校 便り No.70

令和3年2月15日

文責：校長 伊藤 孝行

地震お見舞い申し上げます。

2月13日(土)23時8分に福島県沖を震源とする地震が発生し、福島県内では震度6強という強い地震に見舞われました。幸いなことに津波の発生はなく、東日本大震災のような大きな被害がありませんでした。

保護者の皆様にご協力いただいた子どもたちの安否確認では、心配なけが等の報告はありませんでした。それでも、家具が倒れたり食器が壊れたりしたご家庭は多く、後片付け等が大変だったことと思います。改めてお見舞い申し上げます。

地震による臨時全校集会でお話したこと

土曜日夜の地震を受け、臨時の全校集会を開いて子どもたちにお話をしました。

① 日和田小学校の安全について



学校は耐震化工事が終わっているため大きな地震が発生しても校舎が壊れる心配はないので安心して生活できます。

② 地震発生時の注意

地震が起きたとき、大声を出したり走り回ったりせず、先生の話や放送を静かに聞きます。



③ 登下校時に地震が起きた場合



ブロック塀や門からすぐに離れるようにする。

壊れかけている家や古い空き家などには近づかない。

それぞれのご家庭でも通学路上にある危険箇所についてはご指導をお願いしています。

④ 夜間における地震への備え

＊本棚やタンスからはなれたところで ねる

＊かいちゅう電灯など灯りを近くにおく

＊着替え、スリッパ、非常袋などを近くにおく

お家のひととよく話し合って、いざというときにあわてないようにしましょう。

子どもたちの心のケアについて

多くの子どもたちは、今まであんなにも大きな地震、家の中の物が壊れる地震を経験したことはありません。一見平気に見えても「不安や心配事」を抱えているかもしれません。

お子さんについて心配な点がありましたら、スクールカウンセラーの先生に相談することもできますので、担任の先生まで連絡をお願いします。

ご家庭では、以下の点に気を付けてお子さんと接するようにされるとよいと思います。

① 子どもの不安を受け止める

大きな地震はおとな(父母、祖父母)でも怖いと感じています。子どもが怖いと感じるのは当然のことです。あなた一人が怖いと感じているのではないことを伝えてください。

② おとなが余裕をもってください

地震や余震の不安はありますが、子どもの前では落ち着いたふだんと変わらない様子をみせてください。おとなの姿をみて子どもは安心します。

③ リラックスする時間を設けてください



一緒に遊んだり楽しんだりする時間を意識的に設けてください。一緒に料理をしたり本の読み聞かせをしたりすることは子どもの心の安定には大きな力となります。